

白浜レスキューネットワーク通信 1月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

1月1日～1月31日

電話件数 244 件

メール相談 4 人

保護件数 2 件(男性 2 名)

帰宅件数 3 件(男性 2 名、女性 1 名)

- 8日、男性を保護。夕方家族が迎えに来た。
- 23日、三段壁洞窟様から電話を頂き、男性を保護した。町内のホテルに勤務していたが、辞めて行き場所がなく途方に暮れていた。まだ寮にはおいてもらっていて、復職する可能性もあるということだったので、一先ず帰ることになった。その後、離婚した奥さんの所へも電話をかけ助けを求めたり、生活保護の相談に行くなど、各方面へ支援の輪が広がった。
- 1月31日に保護した女性は帰宅。

生活自立支援活動

1月1日～1月31日

滞在者数 18 人(男性 14 人、女性 4 人)

- 10月に保護した 80 代女性は、昼ご飯を担当してくれている。ちょっとした野菜の切れ端など使って、お味噌汁を用意したり、食卓を豊かにしてくれている。
- 10月から滞在している 20 代男性は、言われたことを言われたとおりにすることや、しっかり人の話を聞くこと、また聞いたことをしっかり覚えておくことなどに取り組んでいる。
- コンビニとまちなかキッチンで働く 20 代女性は、NPO 事務だけでなく、惣菜部門でも事務的な仕事が増えている。
- デイサービスに週 3 回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている 80 歳の男性は、精神的に安定した毎日を送っている。とにかく感謝を口にしている。
- バスの運転手の仕事を取り消しになった男性は、タクシーの運転手になるために二種免許取得に向けて動き始めた。
- 糖尿病を患っている男性は、外への就職をあきらめきれず、情報を集めつつ、まちなかキッチンで働いている。
- まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性に、しばらくまちなかキッチンでさらに訓練を受けることを提案した。物腰の柔らかな態度とは裏腹に、切れやすくイラつく傾向があることと、仕事で優先順位をつけることが下手で、時々請求書の発行などで失敗するところに取り組もうと話した。
- 言葉に気を付けている男性は、未だに言葉がきつときがあり注意を受けるが、自分が取り組んでいることに前向きで、自分が取り組むべき課題も理解しているので、ずいぶん変化してきた。
- 共同生活に加わって一年経つ女性は、まだまだ不眠が続いているが、一生懸命任された仕事に取り組んでいる。根が明るく、意地悪ではないので、仲間にも好かれている。
- 7月初めから共同生活に加わっている男性は、仕事に対してはまじめだが、思い込みが激しく仲間とぶつかることがあり、その時は、関係を修復するのが難しいほどにぶつかるので、一部の共同生活者とはギクシャクし始めている。
- 5月から滞在し脳神経外科を受診している男性は、前向きになれず、一進一退を繰り返している。精神的なものが身体症状に出ているのではないかとも考えられる。
- 70代女性が骨肉腫で入院している。
- 40代男性は、会堂の清掃や近所の草引きなど、

とてもまじめに取り組んでいる。

○40代の男性は、22日ホテルの仕事を始めた。

○10月に近所のアパートに引っ越してきた女性は、共同生活で昼夜のごはんを共にしている。

自殺予防活動

・相談電話

1日、8日、15日、22日、29日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・フードバンク、フードドライブ

男性と女性それぞれに食料提供を行なった。
田辺市在住の親子に食料提供を行なった。

・はじめ人間自然塾



秘密基地の壁づくりを行なった。

・CSコペルくん

変わらず西富田小学校と第一小学校の生徒が集っている。